

学習活動端末支援Webシステム

スカイメニュークラウド

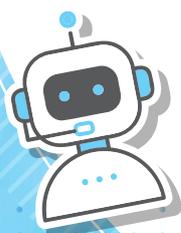
# SKYMENU Cloud

# 気づきメモ

×

# 生成AI

## 活用のすすめ



授業や評価に生かす方法や、  
中川 一史 教授によるAI活用の留意点などをご紹介します！

## 生成AIで 子どもの学びや考えを 分析、指導に生かす



AIとともに、  
まだ見ぬテクノロジーの空へ。



# 授業中、こんな課題を感じたことはありませんか？

- ✓ 子どもたち全員の意見を反映した授業づくりがしたい
- ✓ 考えをアウトプットするのが苦手な子を助けるには？
- ✓ 振り返りを活用し、単元を通した子どもたちの変化を捉えたい



子ども主体の活動を通した学びを実践するなかで、さまざまな課題に直面したことはありませんか？

『SKYMENU Cloud』の[気づきメモ]と生成AIをうまく組み合わせることで、よりきめ細やかな見取りと丁寧な指導に役立てられます。

学習活動端末支援Webシステム SKYMENU Cloud に関する  
詳細な情報はWebへ！

🔍 SKYMENU Cloud

学習活動端末支援Webシステム SKYMENU Cloud スカイメニュークラウド

# 全体の意

個人メモをグループで共有し、気づきを出し合える 並べて表示

グループ1 820人が参加中 2025年12月19日

教員 和彦

大劇場での公演の誘いを受けたとき、手品師はどんな気持ちだったと思いますか？

2 井川 綾乃

自分の努力が報われたと思った

10:17

10:17

男の子との約

4 植田 章二

夢と約束、どちらも大切だから悩んだ

👍 1

10:18

10:19

ほかの人のメモに「いいね」を押せる

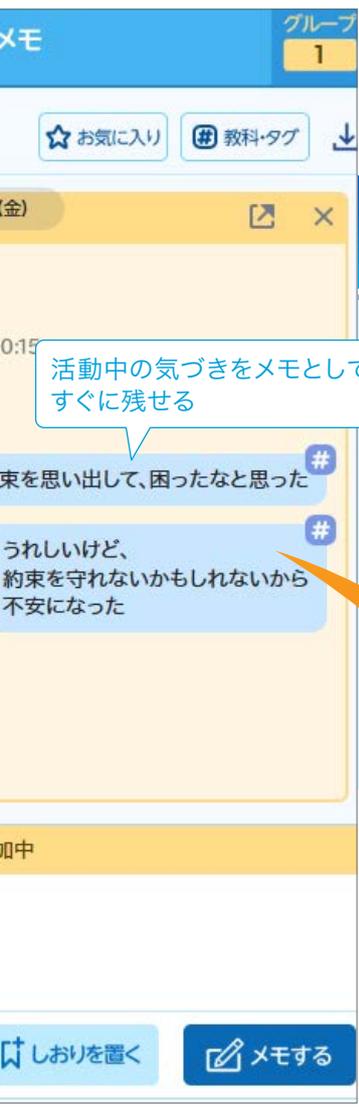
ここにメモを入力してください

📷 📄 🗑️ 😊 ✍️

# 生成AI

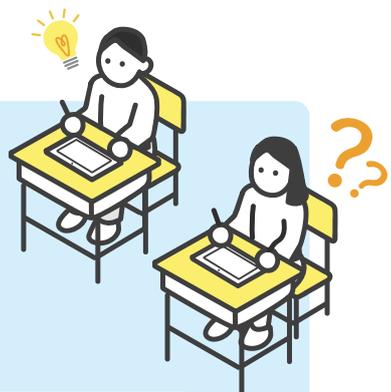
# 気づきメモ × 生成AI で

# 見の集約や見取り・評価を、 よりきめ細やかに!



## 気づきメモ

学習活動中の疑問や発見などの  
**思考を蓄積**



蓄積された子どもたちの思考を……

### CSV形式で出力

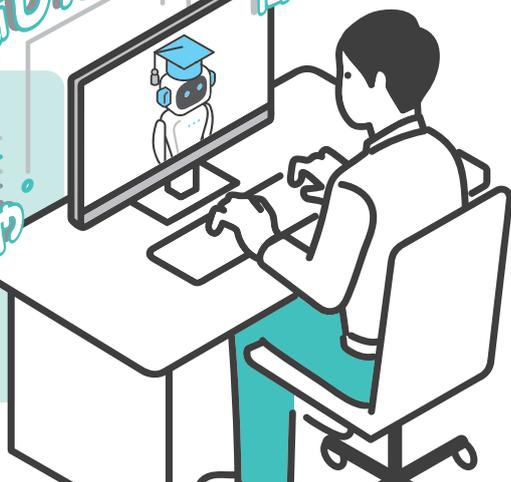
投稿日時やメモの本文、学年・組など、必要な情報だけを抜き出し、CSV形式で保存できます。

傾向分析  
個に応じた指導  
思考を広げる  
問いの生成

## 蓄積された子どもの気づきを 効率的に分析

分析結果は、全体の意見の傾向分析や個別の指導、見取り・評価などに活用できます。

到達度の確認や  
課題の抽出



次ページでは、場面に応じた詳しい活用方法をご紹介します ▶▶

case1  
導入

クラス全体の意見の傾向を**瞬時に分析・見える化**

より多くの子どもの意見や興味関心を反映した「**問い**」や「**めあて**」の設定に生かせる

- 1 授業のテーマに関して感じた問いや疑問を[気づきメモ]に入力させる



### Point

先生はすべてのメモを常に閲覧できます。選択した子どものメモを表示させることも可能です。



気づきメモ

- 2 入力されたクラス全員分のメモをCSV形式で出力



記録時刻	記録者	記録内容	付与されているタグ
2025-10-01 09:42:35	青空 太郎	結構早く流れてる	#実験 #振り返り
2025-10-01 09:43:51	井川 綾乃	血管の色とかじゃない?	#実験 #振り返り
2025-10-01 09:43:31	植田 章二	たしかに	#実験 #振り返り
2025-10-01 10:08:09	青空 太郎	わかったこと ・腎臓や肝臓は排出をする時にも重要な役目をする ・タンパク質を分解する時に、アンモニアが出るということ 疑問 ・膀胱はどれくらい尿を溜めても大丈夫なのか	

- 3 生成AIにアップロードし、整理してもらおう

▼ 生成AI「Microsoft Copilot」による結果イメージ

質問(プロンプト)例

これは小学校〇年・理科の「〇〇」の単元の授業の最初に子どもたちが感じた問いです。問いの種類を整理してください

### 血液や臓器に関する問い・気づきの分類

#### 1. 知識・事実の確認

- ・「血液は心臓から肺に行き心臓に戻ってくる肺循環と、心臓から全身に回り、心臓に戻ってくるがわかった」
- ・「心臓から動脈が出て、静脈から心臓に行くことがわかった」
- ・「腎臓や肝臓は排出をする時にも重要な役目をする」
- ・「肝臓はタンパク質が分解される時に有害なアンモニアを無害な尿素に変える働きを持っている」

#### 2. 理由・原因を問う問い

#### 4. 予想・仮説の問い

- ・「動脈に弁があったらどうなるのか知りたい」
- ・「動脈が壁薄くなったらどうなるのか知りたい」
- ・「膀胱はどれくらい尿を溜めても大丈夫なのか」

生成AI



児童生徒の**個人情報が含まれたCSV形式のファイル**を使用する際は、各自治体や教育委員会が策定した**情報セキュリティポリシー**に従ってください。

case2  
評価

## 単元で蓄積された膨大なデータを整理・分析

# 子どもの細やかな変化や工夫を時間軸で捉え、見取りや評価に生かせる

### 1 毎時間の授業の気づきや振り返りを[気づきメモ]に入力させる



**Point** テキストだけでなく、画面キャプチャやカメラで撮影した写真、動画も貼りつけられます。

気づきメモ

<p><b>Aさん</b> 25年9月25日(木)</p> <p>遠近法を使うと奥行きが出ることがわかりました。家族と過ごした場所を描いて、楽しい気持ちになりました。Cさんの絵を見て、色の重ね方がきれいだったので、次は試したいです。</p> <p>木の葉っぱを細かく描くのが難しかったけど、筆の使い方を工夫しました。Eさんの絵の木の幹の質感がすごくよかったので、真似してみたいです。</p> <p>2025年10月2日(木)</p> <p>最後に細部を整えて、満足できる絵になりました。自分の思い出を絵にできてうれしいです。Fさんの絵の空の表現を参考にしたら、より自然な感じになりました。</p> 	<p><b>Bさん</b> 25年9月25日(木)</p> <p>細かいところを描くのが難しかったけど、少してきてうれしかったです。Kさんの絵を見て、建物の形が正確だったので参考にします。</p> <p>10:51</p> <p>色を混ぜるとやさしい感じになることに気づきました。Fさんの絵の空の色がきれいだったので、次は空を工夫します。</p> <p>2025年10月2日(木)</p> <p>筆の動かし方で質感が変わることがわかりました。もっと練習したいです。Eさんの絵の水面の光の表現がすごかったので、取り入れたいです。</p> 	<p><b>Cさん</b> 25年9月25日(木)</p> <p>遠くの山を薄い色で描くと遠くに見えることに気づきました。Aさんの絵の山の陰影が自然だったので、真似したいです。</p> <p>10:51</p> <p>花の色を重ねると鮮やかになることがわかりました。Jさんの絵の花の形が丁寧だったので、次は細かく描きたいです。</p> <p>10:52</p> <p>最後に色を整えて、満足できる絵になりました。Fさんの絵の空の表現を参考にしたら、よりきれいになりました。</p> 
--	---	--

### 2 対象の子どもや期間を指定し、CSV形式で出力

### 3 生成AIにアップロードし、レポートを出力してもらう

生成AI

#### 質問(プロンプト)例

これは、小学校〇年・図工の「〇〇」の単元の授業で、毎時間の振り返りをさせたデータです。それぞれの児童が努力した点や工夫、課題をまとめてください。

#### ▼ 生成AI「Microsoft Copilot」による結果イメージ

##### 努力した点

- ・ Aさん：遠近法で奥行きを出すことに挑戦し、葉や影の細部を丁寧に描き、最後の絵に仕上げた
- ・ Bさん：細かい部分の描写に挑戦し、筆の使い方や色の混ぜ方を工夫し、全体を
- ・ Cさん：空のグラデーションや遠山の遠近表現に挑戦し、花の色重ねで鮮やかさを整えて仕上げた

##### 課題

- ・ Aさん：葉っぱの細密描写と影の自然さが難しい
- ・ Bさん：細部の正確さと質感の表現が課題
- ・ Cさん：空のグラデーションと花の形の丁寧さが難しい

# SKYMENU Teacher's Community Siteで

# 気づきメモ × 生成AI

## 実践事例を公開中!

「SKYMENU」をご利用いただいている先生同士のコミュニティサイト「SKYMENU Teacher's Community Site」では、全国の先生方による「SKYMENU Cloud」の「気づきメモ」と生成AIを活用した実践事例を公開中です! Use Caseでご紹介した以外の実践も数多く投稿いただいておりますので、ぜひご覧ください。

### 気づきメモ × 生成AIで 問いの分類

神奈川県鎌倉市立西鎌倉小学校  
原 駿介 先生

児童から出た問いからそのまま授業を進めるのではなく、その問いをCSV出力し、生成AIに分析・分類することで、自然な形での授業展開につなげられました。

AIで問いを分類

I. 月の物理的性質と地球との関係	月の組成、運動、光の反射、相互作用	4件	・地球の石と月の石では重さが違うのか・なぜ月はいんな色で見えるのか・月はなんで回るの?・潮の満ち引き
II. 月の構造・表面の様子	クレーター、凹凸、月の裏側	3件	・なんでクレーターができるの?・なんでデコボコしてるの?・どうして月は表しか見せないの
III. 月の満ち欠けの観察と規則性	月の形の種類、変化の有無	2件	・月の形にはどんな名前があるのか知りたい・月は欠けたりのしないのか

### 【小学校】振り返りの 蓄積 & AI分析【気づきメモ】

岡山県赤磐市立山陽西小学校  
松下 豊 先生

図画工作で風景画を制作した際の振り返りを「気づきメモ」で蓄積。個別の指導に生かすため、生成AIを使って「努力・工夫」「課題」「次回の目標」の3つの観点で分析しました。

AIで分析

(記録数: 3)

- ・ 努力・工夫: ○や柵の細部、マーマイド紙への移行。
- ・ 課題: 紙のサイズに合わせた描写が難しい。
- ・ 次回の目標: マーマイド紙での完成。

詳しい内容は、コミュニティサイトでご覧いただけます!

ほかにも多くの先生方に  
投稿いただいています!

先生同士のコミュニティサイト

## SKYMENU Teacher's Community Site

閲覧はこちら



「SKYMENU Teacher's Community Site」のご利用には、ユーザ登録(無料)が必要です。

<https://www.skymenu.net/stec/>

# 生成AIとの「距離感」をどう持たせるか



中川 一史 放送大学 教授

## メリットと留意点の双方をおさえておく

文部科学省が2024年に公開した「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン (Ver. 2.0)」によりますと、「生成AIは使い方によって人間の能力を補助、拡張し、可能性を広げてくれる有用な道具にもなり得るものと捉えるべき」とした上で、「最後は人間が判断し、生成AIの出力結果を踏まえた成果物に自ら責任を持つという基本姿勢が重要」と示しています。つまり、メリットを実感しつつ、留意すべきところを理解して、生成AIと関わっていくことが重要だということです。

## 生成AIの情報はすべて正しいとは限らない

Web上には膨大な量の情報が蓄積されていますが、中には偽情報や誤情報が含まれているため、それを参考に出力結果を返す生成AIにも誤りが生まれ得ます。そのため、生成AIを活用した体験的な授業の際、例えば、事実と違う情報が入っていることも理解できる場面を作り出す必要があります。また、生成AIからの回答に何か「違和感を抱くかどうか」ということを学級で話し合ってみるのも大事な学びの場になるでしょう。

## 適切な指示を与える経験が必要である

生成AIへの指示の入れ方次第で、期待する以上の回答を得られるか、的外れな回答になるかが決まります。授業で活用する場合も、さまざまな学習場面の要所所で、「どんな目的で生成AIを活用しようとして」「どのような指示を出したら」「どう返ってきたのか」「そ

れは何が原因か」などについて、学級全体で共有してみることも必要です。

## 情報漏洩や著作権侵害のリスクがある

児童生徒や教員の個人情報を入力すると、その情報が学習データとして再利用される可能性があります。また、広告に使用した画像などに類似したものを生成してしまうリスクもあるため、注意が必要です。子どもたちと、または教員同士で「これはどうなのかな?」「大丈夫かな?」といった話をすることも大切です。

## その使い方は、学びの阻害になっていないか

これからは授業で生成AIを活用する場面が増えていくでしょう。教員は「この場面で、こういう意図で活用すれば、きっと1+1が3にも4にもなる」と想定して取り組みますが、その結果として、学びの拡張になるケースもあれば、反対に学びの阻害になってしまうというケースもあり得ます。このとき「学びの拡張につながった理由は何か」「学びの阻害になってしまった原因は何か」を、校内で共有することが重要です。

## でも、生成AIを教育の場において避けることはできない

この先、子どもたちは日常生活においても、生成AIと触れる機会は避けられなくなります。となると、禁止や制限をするだけでなく、どのように上手に関わっていけばよいのかを、市町村レベル、あるいは学校レベルで検討していくことが重要になってきます。また、児童生徒に批判的思考力をどのようにつけ、生成AIとの「距離感」をどのように測っていくか、ぜひ情報共有していただきたいと思います。



Microsoft 365

# Copilot Chat エージェント機能で

## 子どもの気づきや振り返りをより効率的に分析し、指導や校務に活用

### Microsoft 365 Copilot Chatのエージェント機能とは

Copilotに「役割」を持たせる機能です。事前に「指示」として役割を設定しておき、必要に応じてエージェントを呼び出して使用します。役割を定義することによって、特定の業務や目的に合わせた一貫性のある応答やアクションを実行でき、より効率的な結果を得られます。

例えば……

児童生徒が学習活動中に感じた気づきや振り返りに対する理解を深め、対話的な学びを促進するために  
**気づき深掘りエージェントを作成**

誘導文に沿って入力するだけで簡単にエージェントを作成できます。

**エージェント作成時の指示文例**

このエージェントは、先生が児童生徒の「気づき」をより深く理解し、対話的な学びを促進するようにふるまいます。授業や活動を通して生徒が記録した気づきをExcelファイルで取り込み、自動的に内容を分析。それぞれの気づきに対し、さらなる思考を引き出すための質問を生成します。

これにより、先生は一人ひとりの理解の深さや思考の広がりや把握しやすくなり、個別最適なフィードバックや指導が可能になります。また、質問は生徒の表現に寄り添いながら、探究的な学びや振り返りを自然に促すよう設計されています。

<p>主なふるまい:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Excelファイル内のデータ読み込み</li> <li>- それぞれの気づきを深掘りする質問の自動生成</li> <li>- 教師による対話や振り返り活動の支援</li> <li>- 探究的な学びを促す視点の提供</li> </ul>	<p>活用シーン:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 授業後の振り返り活動</li> <li>- 個別面談や学習記録の確認</li> <li>- 探究学習やプロジェクト型学習のサポート</li> </ul>
---	---

**指示**

このエージェントは、先生が生徒の「気づき」をより深く理解し、対話的な学びを促進するようにふるまいます。

作ったエージェントは先生同士で共有できる!

### 活用例

## 学級だよりの作成をサポート

- 『SKYMENU Cloud』の[気づきメモ]をCSV形式で出力後、Excel形式に変換し、Copilotに添付。
- 質問(プロンプト) 「添付したExcelファイルを基にして、深掘って」
- 質問(プロンプト) 「今提案してくれた深掘りのための問いを基に、学級だよりを作って」

生成された内容をWordで編集

Word上のCopilotボタンからも、エージェントを呼び出せます!

エージェントを使えばプロンプトは短文でもOK!

Copilotは安全に使えるの?

個人情報など、データの保護に関するご案内▶

<https://reseed.resemom.jp/article/2024/12/27/10070.html>



教育向け MicrosoftのCopilot の詳しい情報や導入に関するお問い合わせは Microsoft 公式サイトをご確認ください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/biz/education/copilot>